科目名称	老年看護学方法論Ⅱ（高齢者看護演習）	学年学期	単位数	時間数
		2 学年後期	1	30
担当教員	栗林　のり子	授業に関わる実務経験	■　有　（　看護師　） □　無	

【1】 授業概要

老化に伴って起こる疾病・障害を理解し、健康障害のある老年期にある人の看護計画を、発達課題、QOLの向上を考えて立案し、看護援助の方法を考え、実践できる能力を養う。

【2】 学習目標

1. 紙上事例を使って健康障害のある老年期にある人の看護過程の展開ができる。
2. 認知症高齢者の看護について説明できる。
3. 事例による看護計画に基づいて個別性を考えた看護技術が提供できる。
4. 老年看護学実習で実施する看護技術の根拠と留意点が述べられる。

【3】 第 2 看護学科ディプロマポリシーとの関連性

■　1. 生活者としての人間の理解
■　2. 人間の生命、尊厳、権利を尊重した判断・行動
■　3. 多様な価値観、共感的態度、倫理に基づいた看護実践
■　4. 科学的根拠に基づいた看護実践
■　5. 多職種との連携・協働
□　6. 地域医療の理解と生活の支援
■　7. 自己の資質向上のための主体的な学び

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	講義オリエンテーション　事例紹介　NANDA-I について　関連図の作製方法	講義
2	認知症高齢者の看護(1)　認知症の種類　病態生理　検査　治療　予防	講義
3	看護過程の展開(1)　病態関連図	グループワーク 発表
4	認知症高齢者の看護(2)	講義・DVD
5	看護過程の展開(2)　情報収集及びアセスメント	グループワーク 発表
6	看護過程の展開(3)　情報収集及びアセスメント	グループワーク 発表
7	認知症高齢者の看護(3)　バリデーション　センター方式　ユマニチュード	講義・DVD
8	看護過程の展開(4)　全体像　看護診断	グループワーク 発表
9	音楽療法　音楽療法とは　音楽療法の実際	講義・演習
10	看護過程の展開(5)　看護計画	グループワーク 発表
11	看護過程の展開(6)　演習計画立案	グループワーク
12	看護技術演習(1)　事例を基にした看護技術演習	演習
13	看護技術演習(2)　事例を基にした看護技術演習	演習
14	演習のまとめ　看護技術の根拠：老年看護に必要な看護技術と留意点	講義 グループワーク
15	筆記試験・まとめ	

【5】 評価方法

筆記試験 70 点　グループワーク 20 点（学生による相互評価）　課題提出 10 点により総合的に評価する。

【6】 教科書

北川公子他:系統看護学講座　専門分野　老年看護学（第 9 版）　医学書院　2023
T-ヘザー・ハードマン編:NANDA-I 看護診断-定義と分類 2021-2023　原書第 12 版　医学書院　2022

【7】 参考書

藏谷範子:関連図の書き方をマスターしよう,サイオ出版
山田律子編:生活機能からみた老年看護過程＋病態・生活機能関連図,医学書院
金川克子監：老年症候群別看護ケア関連図＆ケアプロトコル,中央法規
東風平智江美,田村正枝:疾患別/看護ケアのための病態関連図,医学芸術社

亀井智子：根拠と事故防止からみた老年看護技術，医学書院
黒田裕子:入門・看護診断―看護診断を使った看護計画の立て方改訂版,照林社

【8】 受講生へのメッセージ
紙上事例を用いて、臨地実習で行う看護過程の展開を体験します。